



二口山塊のふところ深く発した清水は、流れを集めて名取川となり、やがて太平洋に注ぐ。この奥秋保の急峻な地形を巡ってきた流れは、ところどころに個性煌めく瀑布を生んだ。

その威容を間近に望めるものもあれば、人を簡単には寄せ付けないものもある。いずれも類まれなる大自然の造形として、秋保が世に誇る貴重な財産である。

秋保 いってみっぺ

あきうの滝めぐり — 大滝から二口沢編 —

いってみっぺ 秋保 あきうの滝めぐり — 大滝から二口沢編 —

企画・発行：秋保地域資源活用委員会・仙台市
連絡先：秋保総合支所総務課 (022-399-2111)
秋保市民センター (022-399-2316)

清流名取川の本流を彩る数多の滝
名瀑秋保大滝から二口沢へ
飽くことなき水と光の冷涼なアート
奥深き秋保の美しい滝をめぐる旅

① 秋保大滝 落差 約五十五m
慈覚大師円仁が、その姿に感動してこの地を山寺の奥の院としたと伝わる。
秋保の滝を代表する名瀑。



あきうの滝めぐり — 大滝から二口沢編 —

② すだれ滝

平らな沢床が割れて
広がり、すだれの如く
流れ落ちる。
大滝植物園の最奥から
望まれる。

落差 約3m

③ かじか滝

すだれ滝から上流へ四百m
ほど。
どこからかカジカガエルの声か
聞こえてきそうな清流の名瀑。

落差 約5m

④ 釜淵

河童伝説の残る荒々しい岩の
間に、絵になる淵を穿つ滝が
あった。

落差 約7m

⑥ 白糸の滝 落差 約四十m

巨大な一枚岩を滑るがごとく流れ落ちる
多数の白糸。二口沢を代表する滝の一つだ。



番外 磐司岩幻の滝
磐司駐車場の少し先から、
雪解けの一時だけ枝間に姿を見
せる神秘の滝。運が良ければ…。

⑧ 布引の滝 落差 約十m

風の洞沢分岐から約二十分
二口沢を歩くと現れる。正に布
を引いたような佇まい。なぜか
斜めに落ちてくるように見える。
二口沢は不思議で奥深い。

⑤ 姉滝 落差 約十六m

かつて穴滝と呼ばれた天然記念物の姉滝。滝口の穴はすでに失われているが、
岩をえぐるように流れ落ちる深山幽谷の美しい滝だ。

落差 約十m

⑦ 風の洞滝 落差 約十m

名取川本流風の洞から十五分ほど風の洞沢を登る。
涼やかな風を感じながら、ずつと眺めていたくなるような
野趣溢れる風情だ。



⑧ 布引の滝	⑦ 風の洞滝	⑥ 白糸の滝	⑤ 姉滝	④ 釜淵	③ かじか滝	② すだれ滝	① 秋保大滝
徒歩40分	徒歩40分	車15分	車20分	徒歩15分	徒歩25分	徒歩15分	

滝から滝へのおおよその所要時間

③、⑦、⑧などは、道が整備されていない秘境の滝で、沢を歩くこともあります。実際に見るためには十分な装備と体力が必要です。